

## 1 班

- ▶ 4月23日(火)/19:30~  
[建屋] 建屋教育集会所
- ▶ 4月24日(水)/19:30~  
[高柳] 高柳ふれあい倶楽部
- ▶ 4月26日(金)/19:30~  
[熊次] 熊次コミュニティスポーツセンター

勝地貞一・谷垣満  
藤原芳巳・瀬原達夫

## 2 班

- ▶ 4月27日(土)/13:30~  
[小佐] 椿色公民館
- ▶ 4月28日(日)/13:30~  
[口大屋] 夏梅会館

足立隆啓・田村和也  
政次悟

## 3 班

- ▶ 4月22日(月)/19:30~  
[伊佐] 伊佐ふれあい倶楽部
- ▶ 4月25日(木)/19:30~  
[西谷] 西谷ふれあいの家

植村和好・西田雄一  
西谷昭徳・荒田幹夫

## 4 班

- ▶ 4月23日(火)/19:30~  
[養父] 大塚コミュニティセンター
- ▶ 4月26日(金)/19:30~  
[出合] 出合コミュニティスポーツセンター

田路之雄・津崎和男  
深澤巧・藤原哲郎

# 開催します。 第19回議会報告会、

## 第 19 回 議会報告会 ご案内

議員が4班に分かれ、  
議会報告会を開催します。  
ぜひ参加をお願いします。  
報告会の資料として、  
この議会だよりを  
お持ちください。

第 92 回養父市議会定例会報告	……P2・3
予算特別委員会報告	……P4・5
文化会館(仮称)請負契約の締結	……P6
議員発議	……P6
賛否一覧表	……P7

文化会館(仮称)特別委員会報告	……P8
市政を問う 一般質問	……P9~15
常任委員会閉会中調査報告	……P16~17
議会モニターとの意見交換会	……P17
市民の窓	……P18

# 第92回養父市議会 定例会報告

平成31年2月26日から3月22日まで25日間の会期で開催された本定例会には、議員発議1件、議案61件等合計73件が上程され、審議の結果全て原案の通り可決した。

一般質問は13人の議員が行い、当局との活発な議論を展開した。

## ・市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

### 【提案のポイント】

国において、長時間労働の是正のため、超過勤務命令を行うことができる上限を定める人事院規則が平成31年4月1日から施行されることに伴う改正。

【質疑】 過労死ラインは月80時間と言われている。100時間まで働かせるのは、長時間労働の改善にならない。残業時間を減らし、職員の健康維持が目的ではないのか。

【答弁】 災害等の例外時に、短期的に行わなければならない業務が100時間を超えている場合がある。新たに上限を設定し、より一層厳格に職員の健康を配慮する中で、明確に時間を示すことにしている。

### 本会議での討論

#### 反対討論 津崎議員

残業が月100時間以内では過労死ライン80時間を超えており反対だ。働き方改革するならば国基準のコピーでなく独自基準の条例を。

#### 賛成討論 田村議員

長時間労働の是正は、職員の時間外勤務の削減と健康保持に、新たに取組むものであり、職場環境の整備や労働改善につながる。

#### 賛成討論 足立議員

超過勤務時間の上限を月45時間未満、他律性の高い部署は100時間未満とし、安全・健康を守る観点から賛成。

## ・市指定居宅介護支援等の事業の人員および運営に関する基準等を定める条例の制定

【質疑】 条例の制定事務が市に移譲されたことで何がかわるのか。

【答弁】 権限移譲で、既存の事業所に対する監査等を市が行うこととなる。また、事業所に対し、適切なケアプランの作成について直接指導を行うなど、より密接にかかわっていくことができる。

## ・市立青谿書院記念館設置および管理条例の制定

【質疑】 記念館(資料館を含む)を維持していく上での、駐車場などの整備計画はあるのか。

【答弁】 具体的な整備計画は現在作成していない。駐車場、トイレ、休憩施設など基本的な整備方針を立て、来館者、交流者を増やしていくため、平成31年度に整備計画の概要を作成する考えである。



▶ 現地調査の様子

## ・市過疎地域自立促進計画の変更

【質疑】 過疎地域自立促進計画は、平成32年度に5年計画が終了するが、終了すると計画は白紙になるのか。

【答弁】 過疎地域自立促進特別措置法は平成32年度までの時限法であり、この法に基づく本計画の今後については未定である。国の動向等、引き続き情報収集に努めたい。

## ・熊次辺地総合整備計画の変更

【質疑】 辺地総合整備計画は、地元からの整備事業の要望を受けた計画だと思うが、他の地域での計画はないのか。

【答弁】 現在、熊次辺地以外の地域で辺地債を活用する計画はない。事業に辺地債を活用することが財源として有利であれば、新たに計画を策定する。

・財産の無償譲渡(三宅区、中米地区の2施設)

【提案のポイント】

市公共施設等総合管理計画に基づき、区の集会施設については、地元区と協議の上、準備の整った区から無償譲渡を進めている。

【質疑】 無償譲渡の対象としている区集会所等は何施設あるのか。そのうち何施設を譲渡し、何施設が残っているのか。

【答弁】 当初は65施設あり、平成30年3月に8施設、同年9月に4施設、同年12月に3施設を譲渡し、本件の2施設と合わせて17施設を譲渡することになる。残りの48施設に今後譲渡の対象となる2施設を加え50施設が残ることになる。

・管理条例の廃止(畑農畜産物処理加工施設、大屋森林技術者住宅、大屋林産加工所の3施設)と財産の無償譲渡(畑農畜産物処理加工施設、大屋森林技術者住宅の2施設)



▲ 現地調査 (畑の施設)

【質疑】 森林組合が活用しなくなることは、森林環境譲与税導入後の新たな林業施策の展開を見据えた上での影響はないか。

【答弁】 森林環境譲与税の導入による施設の活用は考えていない。森林組合は合併により同機能の施設を複数有しており、林産加工については他の施設で対応できる。

・指定管理者の指定(大屋農作業準備休養所ほか全15施設)

【提案のポイント】

公の施設管理を現指定管理者に引き続き行っていただく契約。

【質疑】 指定管理料が支払われている施設とそうでない施設があるが、その判断基準はあるのか。

【答弁】 不特定多数が利用する施設については指定管理料を支払うこととし、トイレ、駐車場、除草等の管理費用をモニタリング等で確認して年度協定で金額を決めている。

・はさまじ里山の森公園の指定管理者の指定

【質疑】 過去3年の実績は利用者が減少しているが、現指定管理者による今後の見通しと管理運営をどのように捉え、評価しているのか。

【答弁】 選定委員会において、新たなPRにより京阪神をターゲットにした集客増につながる具体的な提案を確認している。また、これまでの指定管理において、大きな事故もなく適切に管理運営していることも評価している。

本会議での討論

反対討論 田村議員

指定管理料の積算根拠が、曖昧である。地域住民の永続的な公園利用と、地域主体の公園管理を推進すべきである。社員はいない会社である。

賛成討論 田路議員

これまでの指定管理で大きな事故もなく適正な管理運営をされている。業者の選定も公募型で公平性が確保されており、適切と判断する。



▲ 現地調査

平成31年度

# 当初予算301億9,389万円を可決

内訳 一般会計177億7,000万円 (対前年比0.7%減)  
特別会計124億2,389万円 (対前年比0.5%増)

予算特別委員会は、3月4日から11日までの間、付託された平成31年度一般会計、4特別会計及び2企業会計の総額301億9,389万円の当初予算について慎重に審査を行った。  
(一般会計予算)

歳入の内訳では、市税収入は総額23億3,296万円と対前年度3,673万円、元気な養父づくり応援寄附金が4億円と対前年度1億円増するほか、国から交付される森林環境譲与税2,520万円や消費税・地方消費税の引き上げに伴う低所得者、子育て家庭への影響緩和等を目的とするプレミアム付商品券補助金3,848万円が増加する。反面、合併に伴い優遇されていた地方交付税は3億円の減額が見込まれている。

歳出における増減の主な内容は、下記のとおりである。

## 予算減の主な内容 (単位 千円)

名称	減った額
ケーブルテレビ伝送路設備撤去	100,000
産地パワーアップ事業	100,000
但馬食肉センター改修負担金	95,663
南但広域行政事務組合負担金	95,616
文化会館事業 (用地取得ほか)	807,900

## 予算増の主な内容 (単位 千円)

名称	増えた額
若者住宅地分譲地事業	42,500
ふるさと起業誘致支援事業	7,150
但馬牛畜産クラスター推進補助金	19,635
大塚地区農地整備事業	22,000
森林環境譲与税関連事業	25,200
文化会館等建設事業	616,700
学校施設等長寿命化計画策定事業	9,700
小規模谷止め対策事業	10,000
プレミアム付商品券事業	152,143

▶ 若者向け住宅予定地



一般会計予算に対し、全体意見5項目、個別意見13項目を、国民健康保険特別会計予算には1項目の意見を付した。

## 主な審査意見

### 全体意見

- (1) 地方創生の更なる加速・推進を図るため、市が有する各種基金の予算積立は同年度における積立限度額を設定するとともに、地域福祉基金や地域振興基金については、より積極的な活用、計画的な取崩しなども視野に置き市民サービスの充実につなげられたい。
- (2) 市民の安心・安全確保の観点からも、道路・施設・設備等の修繕事業においては可能な限り要求年度を先送りすることなく対処されたい。
- (3) 市の全ての施策の主人公は市民であることを重んじつつ、その推進に当たっては、更なる参画と協働、情報提供の徹底、説明責任を尽くすべく組織全体で取組まれたい。

### 個別意見

#### 一般会計

- (1) 地域公共会社については、平成32年度

予算編成時までに活動実績等を客観的に分析・評価し、今後の事業展開や運営のあり方を明らかにするとともに、議会及び市民に納得、理解が得られるよう説明責任を果たされたい。

- (2) 子どもを取り巻く環境整備、交通安全、犯罪防止による安全なまちづくりを進めるため、防犯カメラ設置事業の継続、拡充に配慮されたい。
- (3) 高齢者等優待乗車証交付事業における制度の周知方法、乗換え時の運賃負担について、運行事業者等との調整も行いながら制度の再検証に取り組まれたい。
- (4) 農林業については、家族農業者支援施策の充実と森林環境譲与税も生かしつつ、林道、作業道の整備を図り、養父市の基幹産業として明確な位置づけができるよう施策の更なる強化に努められたい。
- (5) 市単独事業における市の財政負担の軽減を図るためにも、過疎計画、辺地計画の更なる見直しと策定を進め、河川、道路等を含む生活インフラの整備などに有利な起債を効果的に活用されたい。

特別会計予算 (単位 千円)

区分	当初予算
国民健康保険特別会計	3,248,600
養父歯科診療所特別会計	54,000
後期高齢者医療特別会計	405,800
介護保険特別会計	3,967,900
水道事業会計	2,143,906
下水道事業会計	2,603,679

国民健康保険特別会計審査意見

- (1) 施設勘定における診療所運営においては、一般会計からの繰入金が増加傾向にあることから、診療所の今後のあり方について、市民や専門家等に意見を聞くなど早期に検討されたい。



平成30年度  
一般会計補正予算及び特別会計・企業  
会計補正予算を審査

3月12日に決算見込みによる一般会計、特別会計及び企業会計の補正予算、7議案が提案され、19日に委員会を開催し慎重に審査を行った。

(単位 千円)

会計区分	今回補正額	最終予算額
一般会計	▲275,796	19,044,010
国民健康保険特別会計	177,200	3,022,448
養父歯科診療所特別会計	▲3,530	51,170
後期高齢者医療特別会計	12,223	403,752
介護保険特別会計	12,896	3,984,970
水道事業会計	(収入)▲69,183	(収入)1,640,306
	(支出)▲83,026	(支出)2,133,094
下水道事業会計	(収入)▲46,690	(収入)1,997,505
	(支出)▲48,529	(支出)2,630,419

水道事業会計、下水道事業会計は収益的収支と資本的収支の合計

本会議での討論

反対討論 津崎議員

社協への支援増額が盛り込まれていない。新文化会館は9億円以上増額を見込み、やぶパートナーズへの赤字補填は認められない。

賛成討論 西谷議員

平成31年度一般会計予算は限られた財源を市民サービス優先に考えられ緊縮型、節約型の工夫された予算編成として受け止めている。

反対討論 田村議員

若者向け住宅予定地は、土砂災害警戒区域であり危険だ。社協補助金は、県下一少ない。修正すべきだ。地域公共会社は、検証委員会指摘が解決していない。

賛成討論 勝地議員

人口減少、若者移住・定住など、地方創生を更に推進し、課題の人口減少に歯止めをかけるための諸施策の当初予算である。

## 養父市文化会館(仮称) 建設工事請負契約の締結

設計段階から施工者が関与し、先行して請負契約を結ぶ「契約先行型ECI(YECI《Yabu ECI》)」方式を採用し、技術提案者の4者からプレゼンテーションを実施した結果、株式会社 鴻池組山陰支店 豊岡営業所を優先交渉権者とし、平成31年3月22日同社との建設工事請負契約の締結を原案可決した。

### 【契約締結の内容】

- ・工事名 養父市文化会館(仮称)建設工事
- ・工事場所 養父市八鹿町八鹿地内
- ・工期 契約の翌日から  
平成33年3月31日まで
- ・請負代金 29億8,944万円(税込)
- ・受注者 豊岡市城南町17番18号  
株式会社 鴻池組山陰支店豊岡営業所

### 【工事概要】

- ・主要用途 劇場・図書館・集会所
- ・工事種別 新築工事
- ・規模 建築面積 約4,094.14㎡  
延べ面積 約4,352.61㎡

## 本会議での討論

### 反対討論 津崎議員

建設工事は大手鴻池組が契約した。そもそも募集段階から地元業者が締結され、元受けに参加できない仕組みは反対である。老朽化などで、危険な文化会館等をいつまで使用するのか。市民の安全を確保するため、スピード感をもって事業を進めるべき。

### 反対討論 田村議員

事業積算を4回見直し、9億1,400万円の増加は認められない。アスベスト問題は早急に対応すべきで、報告に不信感を抱くものである。

### 賛成討論 谷垣議員

類似施設との比較や物価指数の推移を勘案した場合、契約の内容は妥当であり、従前の議決をふまえ可決すべきと判断する。

## 議員発議

### 議員の長期欠席に関する 特例について

市議会議員が長期にわたり市議会の会議等に出席できない場合に、市民から負託された職責を尊重し報酬の一部を減じることを定めるために「養父市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例」を全会一致で可決した。

### 条例の主な内容

- 議員が90日を超えて市議会の会議等に参加できなかった場合に、90日を超える日の翌月から報酬の50%を減じる。

### 市議会の会議等とは…

本会議や委員会に加え、議会報告会や研修など、市議会としての公式な活動全般のこと。

- 期末手当においても、減額された月の割合に応じて、その期間を対象とする期末手当の額の50%を減じる。
- 報酬が減額される期間は、90日を超える日の翌月の報酬から復帰した月の報酬まで。(減額終了の月が、90日を超える月と同月の場合は翌月まで。)
- 市議会の会議等に90日以上参加していない場合は、本人の届出がない場合や、一旦復帰後も再度欠席が続く場合においても、議会運営委員会に諮り、特例を適用・継続させることができる。
- この条例は、平成31年4月1日から施行する。  
※この特例で定める市議会の会議等に欠席した初日(長期欠席の1日目)は平成31年4月1日以降とする。



▲議場の風景

養父市議会 3月定例会 主な議案の議決結果		○賛成 ×反対 太字の◎×は討論														
議案内容	議員名	西谷	植村	藤原哲	西田	田村	田路	荒田	谷垣	足立	瀬原	津崎	藤原芳	勝地	政次	深澤
養父市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の制定		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定		○	○		○	◎	○	○	○	◎	○	×	○	○	○	
指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
畑農畜産物処理加工施設の設置及び管理条例を廃止する条例の制定		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市立青谿書院記念館設置及び管理条例の制定		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
過疎地域自立促進計画の変更		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
熊次辺地総合整備計画の変更		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成31年度一般会計予算		◎	○		○	×	○	○	○	○	○	×	○	◎	○	
平成31年度4特別会計予算		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成31年度2企業会計予算		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
奥米地ほたるの里の指定管理者の指定		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
はさまじ里山の森公園の指定管理者の指定		○	○		○	×	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	
文化会館(仮称)建設工事請負契約の締結		○	○		○	×	○	◎	○	○	×	○	◎	○		
平成30年度一般会計補正予算		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成30年度4特別会計補正予算		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成30年度2企業会計補正予算		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※藤原哲郎議員は欠席

【その他、指定管理者の指定】平成31年4月から5年間(一部の施設は1年間)  
 ・おおや農村公園・天滝公園・逆水総合公園・福定親水公園・内山農林水産物直売食材供給施設(1年間)・大屋農作業準備休養所・若杉高原おおやスキー場・由良セカンドハウス村・体験施設ログハウス「ゆら」・ミズパショウ公園・森石ヶ堂古代村・高中そば管理直売施設・関宮活性化施設・安井農村広場(1年間)など、すべての施設の指定管理者の指定について可決した。

兵庫県市議会議長会  
感謝状受賞



勝地 貞一 議員

養父市功労者  
表彰受賞



深澤 巧 議員

養父市功労者  
表彰受賞



田村 和也 議員

## 養父市文化会館(仮称)建設調査 特別委員会中間報告

2月13日、3月11日、3月18日に市長、文化会館建設推進室などから、資料提供と説明を受け調査を行った。

### ・文化会館(仮称)整備の土地利用

県道東側から北側に2車線の市道を新設し、上・下線にバス停を設け、まちかど広場、143台の駐車場を設置、八木川側の市道沿いブロック塀を撤去し2.0mの歩道を整備する。

### ・今後のスケジュール

工事請負契約後、実施設計業務を8月末、建築確認申請等を10月までに行い、11月から本工事に着手の予定である。

### まとめ

平成26年当初、35億円の全体事業費は、平成30年5月用地費等の5億円増額で40億円に、工事費請負契約により概ね確定したがアスベストの処理費を含む解体工事、什器備品、付帯工事費等で4億5,900万円の増額となり、現時点では44億1,400万円を見込んでいる。当初から9億1,400万円の増加が示された。今回総事業費について再び増額変更が示されたが、市民と議会に対し事前の情報提供を行い、理解が得られるよう努められたい。



▲ 文化会館(仮称)整備の土地利用計画図

## 南但広域行政事務組合議会報告

### 第144回定例会

1月28日から2月12日まで16日間の会期で開催され、報告1件・議案10件・同意1件を審議し全て原案のとおり可決した。

★主な内容は以下のとおりである。

#### ■一般会計補正予算(第2号)について

平成30年度現計予算額は21億7,137万円であるが、これから2,254万円を減額し、予算総額を歳入歳出それぞれ21億4,883万円とするもの。

#### ■平成31年度一般会計予算について

歳入歳出予算の総額は、18億8,500万円で対前年度比3億200万円の減。

#### ■平成31年度電算事業特別会計予算について

歳入歳出予算の総額は、2億1,100万円で対前年度比2,100万円の増。

#### ■平成31年度休日診療所特別会計予算について

歳入歳出予算の総額は、1,500万円で対前年度比80万円の増。

#### ■平成31年度農業共済事業特別会計予算について

収入支出の予定額は、1億8,130万円で対前年度比3,240万円の減。

### 第143回定例会

平成30年12月27日に開催され、報告1件、議案2件を審議し全て原案のとおり可決した。

#### ■農業共済事業事務費の賦課単価の変更について

既に定めている平成30年度南但広域行政事務組合農業共済事業事務費の賦課単価について、平成31年1月1日から家畜共済が死亡廃用共済と疾病傷害共済に分離されることに伴い、家畜共済割の賦課単価の変更を行い、同日から適用しようとするもの。

## 一般質問



ふるさと納税寄附額  
50億円を目指せ

荒田幹夫 議員

### ふるさと納税への取り組みについて

**問** 今年度ふるさと納税の寄附額が4億円を上回る見通しだが、全国の自治体の中には人口が1万人にも満たない小さな町が、養父市の20倍、80億円近くもの実績を上げている自治体もある。体制を強化し、50億円くらいを目指してはどうか。

**答** 目標を高く持ち意欲的に取組んでいく。



### 水道事業について

**問** 養父市の上下水道代は県下41市町中8番目と高く、県下平均より30%、豊岡市、朝来市と比べても20%も高い。市民所得は県下の中で最も低く市民の暮らしを圧迫している。水道事業の抜本見直しをし、料金を引き下げるべきではないか。

**答** 人口減少に伴い水需要が年々減少し経営が厳しくなっていくが、事業全体をさらに見直し、市民負担の軽減に努力していく。

### 住みたい田舎ベストランキングについて

**問** 宝島社が発刊する住みたい田舎ベストランキングにおいて、養父市が近畿エリア総合第1位にランキングされた。3年連続して最上位に評価されているが、移住者増の成果につながっていない。要因を分析しているのか。

**答** 知名度は上がっているが、評価に伴う移住者増にはまだつながっていない。成果を上げている自治体のやり方を参考にし、移住者増に努力していく。

# 市政を問う



順番・頁	質問者氏名・テーマ
① P9	荒田幹夫 議員 ふるさと納税寄附額50億円を目指せ
② P10	政次 悟 議員 暮らしを取り囲む環境変化の中で
③ P10	勝地 貞一 議員 「子育てしやすいまち」の現状は
④ P11	瀬原 達夫 議員 人口減少と朝倉周辺のまちづくり
⑤ P11	西谷 昭徳 議員 錦鯉の復活とインバウンド
⑥ P12	津崎 和男 議員 こども園支援と子育て支援を
⑦ P12	田路 之雄 議員 「学校の防災教育」が地域防災につながる
⑧ P13	植村 和好 議員 行政区の課題、社会福祉の充実について
⑨ P13	藤原 芳巳 議員 市営住宅ストックの有効活用を
⑩ P14	田村 和也 議員 地域の防災力向上と人材育成について
⑪ P14	西田 雄一 議員 市長施政方針について
⑫ P15	谷垣 満 議員 市民の不安に行政は応えられているのか
⑬ P15	足立 隆啓 議員 創生期から成長期への市の方向性

◎ 一般質問の様子は、ホームページから動画で見られます。

◎ 右のQRコードでアクセスできます。



検索

### 議会を傍聴してみませんか？

本会議の傍聴は、先着30人です。



議場(市役所3階)の傍聴席入口で傍聴証をつけてご入場ください。氏名等の記入は必要ありません。



暮らしを取り囲む  
環境変化の中で

政次 悟 議員

県議選の合区と新たな社会づくりを問う

**問** 兵庫県会議員選挙区で養父市、朝来市が合区となるが、市長はどのように受け止め、どのように考えているのか。

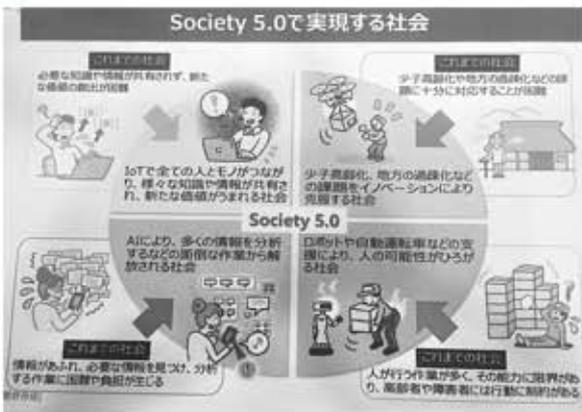
**答** 合区になることで825km<sup>2</sup>を超える広大な面積となることもあるが、本当に人口だけで物事を考えても良いのだろうかと思っている。一票の重さは理解しつつも、今後においても合区についての異議は申し述べていきたい。

**問** 少子・高齢化、人口減少の進む昨今、今の市民サービスを維持する上でも、朝来市との更なる施策連携を探り、強化する必要があると考えるが、市長はどのように考えているのか。

**答** 養父市独自でやる施策もあるが、広域連携により効率・効果的なもの、充実できる施策もあると考えられる。役所の組織内部で十分に検証し、連携できるものを検討していきたい。

**問** 新たな社会づくりの仕組みとして内閣府が進める、人工知能やロボット、コンピュータなどを組み合わせた社会づくり(ソサエティ5.0)に対し、養父市はどのように取組む考えなのか。

**答** 便利な時代にはなると思うが、人間が、我々が、そうした道具をどのように選び、使いこなすことができるかが大切である。我々が、機械に使われることがあってはならないとの認識を持ちつつ対応を検討したい。



▲ ソサエティ5.0社会とは



「子育てしやすいまち」  
の現状は

勝地 貞一 議員

子ども子育て支援について

**問** 子ども子育て支援法が制定され、平成27年度から「子ども子育て支援新制度」がスタートした。この支援制度は5年間の計画で31年度が最終の年で、32年から始まる第2期はどう計画されようとしているのか

**答** 平成31年度は計画の最終年度で、これまで展開してきた事業の実施計画や、児童の人口の推移、子育てニーズなどの調査を行い、子ども子育て会議を設置し、スケジュールを立てて計画的に進めていきたい。

**問** 平成31年度の入園の募集をされすでに決定をされているが、31年度の入園の希望者数はどうなっているのか。

**答** 31年度の入園希望者は3月5日現在で721人、昨年同期は724人で若干少なくなっている。市内の受け入れ総数は830人であり87%の利用状況となっている。

**問** 消費税増税により、31年の10月から3～5歳児は原則無料、0～2歳児の低所得対象児は、認定こども園等の利用料は無料となるのか。

**答** 現在国で、子ども子育て支援法の一部改正は閣議決定を受け国会審議が行われており、法案の既決を受け、今後の議会に必要な条例と補正予算を提案し、10月1日からの無償化に対応していきたい。ただ、4月からは現行の保育料で計上しており、31年度の当初予算には反映していない。



▲ 子育ての私立認定こども園

市政を問う

一般質問



人口減少と  
朝倉周辺のまちづくり

瀬原達夫 議員

人口減少の現状と今後の対策について

**問** 新市まちづくり計画の政策を考える上で、目標人口と将来人口については、どのように考えているのか。

**答** 合併を目標に、いろいろな議論がなされるに当たって、これまでは目標人口を3万人に設置してきた。その後言葉としては将来希望人口として、2060年度に人口2万人を確保するために、どういった施策が必要か平成31年度3月までの計画期間を、平成36年度までと5年間延長して、評価委員会の意見等を踏まえながら適切な目標設定をしていきたいと思っている。

朝倉地区周辺のまちづくりと  
環境整備について

**問** 市道11号線の北側に、人口増加の為に「子育てするなら朝倉で」と言うようなキャッチフレーズで、圃場付き短期賃貸住宅などの建設はできないか。

**答** 現在のところ朝倉地区周辺に限らず市内においては、子育て世代に限った圃場付き戸建ての住宅を整備するというような計画はないが、平成31年については分譲住宅の整備を予定している。ただし、この提案が有効な子育て支援施策というような位置付けができれば参考にしたい。

**問** 八木川の河床洗堀により護岸ブロックの流出がある。放置すると堤防等に被害が発生するのではないか。

**答** 現在河川改修等の計画は進んでいない。



▶ 朝倉地区の商業施設



錦鯉の復活と  
インバウンド

西谷昭徳 議員

錦鯉を生かしたまちづくり

**問** 錦鯉を国魚とすることをどのように受け止めているか。また、数カ所の大きな看板が色あせている。整備する考えはないか。

**答** 旧養父町の錦鯉は有名。黒鯉料理は高級食として評価は高い。看板整備は検討する。

**問** 養父市の特産として歴史があり再度復活する考えはないか。

**答** 以前鯉の養殖は進められていたが高齢化と後継者不足で途絶えている。地域の活性化の動きがあり市としても支援したい。

**問** 道の駅やぶレストランが閉店しているが、錦鯉を活用して復活できないか。

**答** 地元有志が復活できるよう検討している。



▲ 錦鯉の大きな看板

外国人労働者について

**問** 市内の外国人労働者の実態を尋ねる。

**答** ハローワークで但馬管内の労働者数が837名、事業所152カ所で年々増加している。

**問** 大型店舗が参入し人手不足が起きる。高齢化が進むと外国人労働者が必要ではないか。

**答** 外国人労働者の雇用も必要である。働き方改革で高齢者、女性の雇用を考えている。

ワールドマスターズゲームズ2021関西

**問** インバウンド対応が手遅れと聞かす。

**答** 交流人口を優先にしていたことによるため。

**問** 香美町、神河町との連携は進んでいるか。

**答** 副市長等が国際連盟指導で進めている。

**問** 外国人の受け入れ態勢は進んでいるか。

**答** 関西実行委員会の指導で取組んでいる。



こども園支援と  
子育て支援を

津崎和男 議員

**なぜ広谷こども園を増築しないのか**

**問** 広谷こども園は定員150名で保育士18名。どの部屋も満員状態だ。入園希望が多く増設予定だったがなぜ中止したのか。3月も0歳児が5名増え17名にもなっている。

**答** 0～2歳児の要望が多い。4年前に120名を150名とし必要に応じ改修している。

**問** 日光こども園は増築し、たいようこども園も次年度増築予算が付く。児童福祉法で自治体は保育所整備の義務がある。50万円の設計業務予算は広谷こども園分ではないのか。

**答** 内部で個別施設のあり方を検討している。50万円は広谷こども園だけに限らない。

増築が待たれる  
広谷こども園



**公立こども園は民営化の必要はない**

**問** 保育・幼児教育は、園の経営や国の財源よりも子どもにとっていかによい環境、よい保育ができるかを優先に考え、そのために財源を確保するのが行政の役割。財源不足による民営化は必要ない。過去に議会も民営化反対で意見がまとまった。教育長の考えを問う。

**答** 慎重に検討する。民営、公営を問わず、どこの子どもも同じ保育・教育を行う。

**保育料は全員無料化すべきだ**

**問** 10月から3～5歳児と0～2歳児の住民税非課税世帯の保育料が無償化される。養父市の財政負担が減るならば子育て支援をさらに拡充し、全員完全無償化すべきだ。

**答** 2人目半額、3人目無料の多子世帯支援をしている。財政負担は国や市で並行する考え。

⑫ 養父市議会だより 平成31年4月15日発行



「学校の防災教育」が  
地域防災につながる

田路之雄 議員

**路面凍結時の子どもの交通安全対策について**

**問** 平成31年2月12日の早朝、市内大屋町夏梅地内で通学路の歩道を乗り越えて田や畑に車が突っ込む、路面凍結によるスリップ事故が発生した。通学路の安全対策を問う。

**答** 道路管理者に安全対策を申し入れる。また、学校からも通学路における安全歩行、通行車両やバス乗降時の安全指導を学年毎に行う。また、地域連携し安全確保を図る。

**問** 市内大屋町由良地区の県道で、道路幅が狭く中学生の自転車通学に危険箇所がある。

**答** 承知している。道路管理者にはバイパス工事等の交通安全対策を申し入れている。

通学路を突き破った事故現場



**地区防災計画の作成と避難所の開設・運営**

**問** 本市の163の行政区において、地区防災計画を作成している区はあるのか。

**答** 上野区のみである。高柳自治協議会のような先進地の例もあるように、出前講座などを開催して勧めるが、地区防災計画、指定避難所開設運営等の訓練の要望があれば、市としてサポートする。

**問** 「学校の防災教育」は、子どもを通じて親に伝わり、おじいちゃん、おばあちゃんに伝わり、地域防災の輪が地域に広がるがどうか。

**答** 学校では、各教科で防災教育をしている。防災マニュアルを見直し、校内研修し、また、防災の副読本「あずに生きる」を学習し、自分の身は自分で守る防災教育を行っている。

市政を問う

一般質問



行政区の課題、社会福祉の充実について

植村和好 議員

行政区長の後継者不足問題

**問** 区長後継者不足の問題が深刻になってきているが、市行政にとって区長の存在、連携は不可欠であり市長はこの現実をどう捉えているのか。

**答** 高齢化の進展、年金受給年齢の引き上げ等による後継者不足。さらに、昨今の自然災害予測による防災など、多種多様な区長業務があると承知している。しかし、現区長さんの「やりがいがある」とのご意見も聞いており、モチベーションを高めていただきたい。非常に大切な区長さん方なので、当局と連絡、連携をさらに強めたい。

市と社会福祉協議会との連携強化について

**問** 社協の運営財源は、一般会費、賛助・特別会費、寄附金、共同募金配分金、基金があり、公費財源として補助金、事業委託金、事業収入の主なもので介護事業などである。しかし平成19年度の「市補助金等審査委員会」で職員の人件費等補助金が廃止などで赤字予算を組むなど大変苦しい財政である。20年度から組織経営検討委員会を設置して改革を進めているが、依然厳しい状況で職員給料、報酬の削減を断行している。

当局と社協間で実状の協議をする必要があると思うがいかがか。

**答** 社協の実状は、資料等で承知している。内容等を双方で充分検討し支援策の協議を行い市福祉の充実を図る努力をしていく。



▲ 市社会福祉協議会の広報紙



市営住宅ストックの有効活用を

藤原芳巳 議員

住宅政策、特に市営住宅について

**問** 平成13年以来、市営住宅が建設されていない。その背景を問う。

**答** 核家族化など時代の要請で、旧町の時代に多くの公営住宅が建てられた。その後はストック数が多く、建てる必然性がなかった。

**問** 計画どおりに住宅のストック数が減らせていない。減らせるのか。

**答** 老朽化したものから募集を停止し、全ての居住者が退居したのから整理していく。

**問** 統廃合とか、新しいものを建てて集約する考えはないか。

**答** 入居者の希望がそこにないため、集約することは考えていない。

**問** 公営住宅法施行令の家賃の収入超過者措置について、課題があると認識しているか。

**答** 公営住宅法で定められている以上、課題があるとは認識していない。

**問** 一定の年限を過ぎた市営住宅の定住促進住宅等への用途変更する道はないか。

**答** 現状は、法律上困難である。

**問** 地方分権改革を自治体職員が意識する中で、国の参酌基準を養父市にあわせた基準に手直しできるなら、真に住みたいまちになるのではないか。

**答** セーフティーネット機能としての市営住宅と移住定住のための住宅は分けて考える必要がある。

▶あじろ地区



養父市議会だより 平成31年4月15日発行



地域の防災力向上と  
人材育成について

田村 和也 議員

子ども防災士の育成

**問** 「自助」「共助」の意識を高め、災害対応において、周囲を支援するような地域の防災力の強化を図ることが必要である。将来の養父市を担う子どもたちに防災講座を受講させ、自助と共助の精神を育み、市の未来に貢献できる人材の育成を図る事業の目的と、地域の防災力向上、人材育成にどのように取り組むのか。

**答** 「安心・安全の町づくり」は町づくりの基本であり、地方創生を進める上でも重要である。災害時における自助・共助・公助と言われているが、特に共助は人が生きていくためのコミュニティ強化はソフトな社会インフラと考えている。防災をしていく上で人材育成は必要である。そこで市の基準で子ども防災士を作り出す目的で、養父の未来づくり・地域貢献リーダー育成講座を新たな施策として構築した。育成講座をしっかりと行うことにより子どもたちに、防災を通じた地域郷土への愛着を醸成し、将来の養父市を担っていく人材育成を行っていく。地域貢献リーダー育成講座を市内の小学校6年生、中学校3年生全員に実施する。講師は「人と防災未来センター」から講師をお願いして、9月後半から4日間授業を行う予定である。



市長施政方針  
について

西田 雄一 議員

意欲的・挑戦的な取組とは

**問** 平成31年度市長施政方針に、全国屈指の高速ブロードバンド環境を取入れ、人口約5,300人の小さな徳島県神山町が、都市部からのサテライトオフィス事業に成功し地方創生の”神山モデル”と言われるようになった。

養父市においても「意欲的・挑戦的な取組を行い、今後も一喜一憂することなく長期展望のもと、辛抱強く断続的に取組む。」とある。

神山町のようにサテライトオフィスなどを誘致して人口の中身を変えようとするのか、それとも官民連携の中、市民の創意と努力で成しとげようとするのか、市長の思いを聞く。

**答** 養父市には、既に高速大容量の通信基盤が網羅されており、これらを十分利用していきたいと思っている。

質問の、意欲的・挑戦的に行うというのは、市民の皆さんの幸せな社会が構築できるように、我々行政の人間も、既成概念や市役所行政のあり方など、縦割り社会を根底からしっかり見直し考えてみることも必要であると思っている。

養父市は今、人口の自然減少や社会減少が多く若い力が少ないが、マイナスの部分プラスにしていく転換を考えながら、若者たちの移住、定住を進めていかなければとの思いである。

▶ “神山モデル”で有名な徳島県神山町



市政を問う

一般質問



市民の不安に行政は  
応えられているのか

谷垣 満 議員

新文化会館建設事業について

- 問** 総事業費はいくらになるのか。
- 答** 43億円～44億円と見込んでいる。要因は当初予算から用地取得費が5億円増加し、現文化会館の解体費と館内の備品費が予算より増加する見込みで、確定ではない。
- 問** 予定より広い土地を購入したなら、余剰土地を他用途に転用するなど、予算を超えない方針を第一に検討すべきでは。
- 答** 公園機能の充実を求める市民の声もあり、増加分は公園として整備することとした。
- 問** コストのかかるデザインが採用されている。選定にあたり予算は重視しなかったのか。
- 答** 総合的に判断された。選考は副市長も含めた外部有識者による選考委員で行った。
- 問** 選考は「新しい入札方式への対応を重視した」と報告があった。事業費の抑制よりも新しい入札方式の実行が優先されたのでは。
- 答** 新しい入札方式を採用することで事業費の抑制に努めている。選考においても副市長から事業費の抑制を求める意思是意見した。
- 問** 市民からは「事業費の抑制を求められている」と私は感じている。将来負担の不安に対し、抑制に努める行政の努力と姿勢を示す積み重ねにより、理解と協力を得ながら「市民と共に創り上げる拠点」を実現することが、本事業の目的ではないのか。
- 答** そのような事業の実現に行政も努めていく。



▲ 新文化会館のイメージ図



創生期から成長期への  
市の方向性

足立隆啓 議員

日本一をめざすまちづくりについて

- 問** 日本一農業をめざすまちづくりについては、企業のための農業特区になっていないか。市民にとっての農業特区であるべきではないか。
- 答** 農業特区は企業だけのためではない。地元と協力して初めて成功する。待ちの農業でなく、打ち破る積極的な農業をめざし市民の特区にしてほしい。
- 問** 日本一農業をしやすいまちづくりについて、多面的機能支払交付金の事務が複雑でやめる地区が増えている。簡素化すべきではないか。
- 答** 国からは次年度から大幅に簡素化の説明があった。市でも少人数単位の研修に取り組むなど支援をしていく。
- 問** 日本一子育てしやすいまちづくりについて、日本一をめざすならさらなる支援が必要ではないか。
- 答** 多子世帯の保育料軽減において養父市独自の施策とし、1・2・3号認定とも小学校6年生まで拡大している。また、遠隔地の小・中学生の交通費は全額補助、高校生は月額1万5千円を超える金額の補助、給食費は第2子以降は半額にするなど支援を行っている。



▲ 子育て・移住サポートセンター

## 総務文教常任委員会報告

委員会では、閉会中の2月6日に「市内診療所の現状と今後の課題」について調査を行った。

担当部署から資料に基づき説明の後現地に出向き、大屋診療所、出合診療所で医師との意見交換を行った。

### (1)市内の診療所の現状

養父市内には、医療施設が19施設、歯科診療所が8施設で、そのうち国民健康保険直営診療所4施設、国民健康保険及び市直営歯科診療所2施設が設置されている。

市が運営する診療所は、人口減少や高齢化による老人保健施設等への入所、デイサービスの充実などで診療人数が減少し、大谷診療所を除く5施設では、他会計からの繰入金等により各診療所の安定運営を図っている。



▲ 出合診療所での意見交換会の様子

### (2)市内の診療所の現地調査

両診療所とも、公立八鹿病院とのスムーズな連携が図られており、患者や地域に安心した医療が提供されている。

## 生活環境常任委員会報告

委員会では、閉会中の2月4日に「上下水道の現状と将来展望」について所管担当部の説明を受け、調査を行った。

### (1)水道事業について

施設の現状は、水源35カ所、浄水場25カ所、その他配水池、加圧ポンプ所、減圧槽など167カ所があり、配管総延長は378.3kmである。将来の人口減少を見据え、経済性と効率化を図るため浄水場の統廃合を進めている。

一方で、医師確保の観点からは、地域医療を希望する医師は存在するが、地方に入ると専門的な勉強ができないのではないかという不安があり、環境整備が必要であるとの意見が出された。



▶ 大屋診療所での意見交換会の様子

### まとめ

人口が集中の地域には、病院や民間の医療機関が比較的多く設置されている。それらを利用しにくい地域の高齢者や、訪問診療に頼る人にとって、市が運営する診療所の存在とその果たすべき役割は大きいと考えるが、1日の診療人数が10人に満たない診療所のあり方や医師の高齢化等が課題となっている。

市は、養父市全体の地域医療を総合的に考える中で、地域住民の意見や地域の実情、診療所の経営的見地などを踏まえ、市が運営する診療所のあり方を考えるとともに診療所医師の高齢化を見据えた医療体制の確立に向け、早急に具体的な方向性を示されたい。

また、建築後数十年が経過する診療所の施設管理についても、耐震、老朽化等を考慮した改修計画を策定し、安心・安全な診療体制の構築に努められたい。

水道料金(口径13mmで20<sup>m</sup>使用の場合)は現在3,630円で県下41市町(県下平均2,869円)のうち9番目に高い。水道事業の主な収支計画財源は、料金収入、一般会計繰入、地方債で構成されているが、人口減少により料金収入は年々減少傾向で、一般会計からの繰入金への依存はますます大きくなることが予測される。

水道法の一部が改正され、国は広域連携や官民連携の推進等を促進している。官民連携の推進では、水道事業において施設運営権を民間事業者を設定できる仕組み(コンセッション方式)の導入が可能となった。

## (2) 下水道事業について

施設の現状は、浄化センター33カ所、マンホールポンプ370カ所、マンホール15,035カ所があり、管渠総延長324.2kmである。平成26年度に策定した下水道事業効率化計画に基づき施設の統廃合を実施し効率化を図るとともに、ストックマネジメントを導入し、施設の計画的な更新に努めている。

下水道使用料金(口径13mmで20m<sup>3</sup>使用の場合)は現在3,680円と県下(県下平均2,760円)で7番目に高い。

広域連携については、近隣市町と協議・検討していくとしているが、水道に比べハード面での連携はさらに困難で、ソフト面に関しても進んでいない。

▶市道に設置している  
マンホール



## まとめ

上下水道事業は、市民生活にとって重要な事業であり、自然環境保護の面でも大きな役割を果たす事業である。

施設の統廃合によって不用になった建物等は、倉庫等有効な転用を図り、活用できないものは撤去を含め適切な処分を検討されたい。また、市内には1万5千個余りの下水道マンホール蓋があり、老朽化が全国的に問題になっている。大型車両、除雪車等による損傷を起因とする事故が危惧されることなどから、適切な点検、取替を行い事故防止の徹底を図る必要がある。

水道事業、下水道事業ともに、将来の人口減少により水需要が減少し使用料収入が減少する反面、施設更新に伴う建設改良費の増加が予測される。上下水道事業の持続可能な事業運営のため、民間事業者との連携や県営化による垂直連携など、新たな可能性に向け検討を進められたい。

## 議会モニターとの 意見交換会

意見交換会を2月13日(水)に行いました。これは議会活動全般について広く意見をいただき、議会運営に反映させるものです。当日は3名のモニターの出席と、文書による3名のモニター意見をあわせ、議長、議会運営委員会の委員と活発な意見交換を行いました。



### モニター意見の主な内容

#### (1) 議会改革(議員の長期欠席)について

- 他の事例では段階的な減額が多い。一律50%の減額(案)は厳しいのでは。
- 市議会の会議等に出席することも議員の責務である。市民目線で言えばペナルティ的

な措置(報酬の減額)も必要ではないか。

- 復帰の見込みがない場合、辞職を勧告することはないのか。
- 長期欠席の議員に期末手当はいるのか。
- やむをえない長期欠席については、報酬を支払ってもよいのでは。

#### (2) 一般質問について

- 「事前通告していない」と言われるが、行政にも幅広い回答を期待したい。
- 予想の範囲内で質問・答弁が終わっている。市民はその先にある展開を期待している。

#### (3) 議会だよりについて

- 報告だけでなく議員の思いや議会の考えなどを盛り込めば、内容が深まると思う。

#### (4) 議会報告会について

- よい制度だと思うが、夜間は出難く会場も1カ所に集まるとなると参加が難しい。

#### (5) 議会モニター制度について

- 各種団体推薦で出ているが、一般の方も参加してほしい。議会・本会議の内容に魅力があればモニター希望者も増えるのでは。

#### (6) その他

- 元気なシルバー世代の活躍・活動は、市政運営にもよい効果を発揮するのでは。



養父市立養父中学校  
森田 結貴

私は養父市で生まれ育ち、今年で15歳になりました。そこで、養父市について改めて考えてみました。

養父市では、病院に行つたときや歯の治療をしたときにかかる医療費が中学生までは無料です。他の市では医療費は有料だと知って驚いたこともあります。ま



兵庫県立但馬農業高等学校  
米田 彩音

養父市に住み始めてまもなく6年となります。他所の暮らしも知る私だけに、この町の良さをより一層感じるように思います。

豊かな自然と季節の移り変わり、人々の手によって守られてきた棚田の美しさ、風にそよぐ早苗、黄金色の稲穂、温かく繋がりが深い

た、テレビでよく耳にする待機児童問題も養父市ではゼロだと聞きました。私は0歳児で幼児センターに入所しましたが、「朝早くから預けることができるとも助かっていた。」と母に聞いたことがあります。

このように考えると、養父市は人に優しく、市民がとてもしやすい所なのではないでしょうか。だから、私も将来、養父市で暮らしていきたいと思っています。

地域の人たち。町全体が大きくなりかこのようです。それだけではありません。新規就農や起業の支援、子供の医療費が無料など・・・だからこそ、「住みたい田舎」近畿エリア第一位に選ばれるのでしょうか。

4月から社会人として但馬で働きます。多くの人は進学や就職で都会に出てしましますが、私は養父市に住み続け、この美しい町を盛り立てる若い力となるべく、頑張ります。

卒業にあたって(学校名・学年は平成31年3月時点です)

## 市民の窓

## 養父市について



兵庫県立八鹿高等学校  
村上 音色

私は八鹿高校でとても充実した3年間を過ごすことができたと思います。

入学当初は学習と部活動を両立できるか不安に感じることもありましたが、周りの人たちに支えられ、安心して取り組むことができました。

高校生活で特に印象に



養父市立大屋小学校  
鎌田 圭

僕が考える、養父市の良い点は二つあります。それは、自然が多い点と人が優しい点です。

なぜそう思うかというと、養父市には、氷ノ山や天滝スキー場など観光スポットが多く、友達は何が困っていたら助けてくれたり、登校の見送りをしてくださる地域の方がおられたりする



残っているのは部活動です。恵まれた環境の中で部活動ができたのは仲間や先生方や家族のおかげだと思います。恩返しができる結果を出せたかは分かりませんが、最後まで全力で取り組むことができました。

3年間で得たことを生かし、進学先でも頑張りたいと思います。

からです。

また、同級生の人の多くが、自分たちの住む大屋町は自然が多くあることや人の優しいことが良いところだと答えていました。大屋町の良いところは養父市の良いところでもあります。

だから、養父市の良いところは、自然がたくさんあるところと住んでいる人は皆、優しいところだと思います。



## あとがき

桜が咲き、木々が芽生え、やがてふるさと養父市の野山は新緑におおわれる。

今回の広報紙は表紙のカラページを一新、盛りだくさんで2ページ増加、縦書きを挿入しました。

お堅い議会広報紙ですが読みやすさとアビリティ度を追求しました。

養父市議会の「やる気」「元氣」「挑戦」が市内隅々まで届いたでしょうか？

市民の皆さんのご意見をお寄せください。

広報特別委員会

## 6月定例会予定

- 6月7日(金) 本会議① 開会
- 6月19日(水) 本会議② 追加議案提案
- 6月20日(木) 本会議③ 一般質問
- 6月21日(金) 本会議④ 一般質問
- 6月27日(木) 本会議⑤ 閉会

※予定ですので、今後変更になることがあります。